

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の魅力発信 動画を活用した移住定住推進事業
事業主体 (連絡先)	田舎暮らし駒ヶ根推進協議会 駒ヶ根市赤須町20番1号
事業区分	⑧その他の地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	884,000円 (うち支援金: 699,000円)

事業内容

駒ヶ根市では田舎暮らし駒ヶ根推進協議会と連携し、移住者支援のための事業を実施している。各地で移住者支援が盛んになる中、駒ヶ根市をPRするため、動画を作り首都圏でのセミナー等で活用する。

- ・移住者向け動画の制作
- ・首都圏での移住セミナー開催
3月9日 ふるさと回帰支援センター
実績 7組9名
- ・年間セミナー参加者数 126人



【移住セミナー】

事業効果

- ① 動画の制作にあたり、境遇の異なる方に出演いただくことで、様々な経過や暮らし方をしていいることを伝えることが出来た。
- ② セミナーへ参加していただくゲストとは違う体験談を動画で知ることが出来るため、座談会の時間には多岐にわたる質問があり、より当市を知っていただくことにつながった。
- ③ 参加者アンケートでは、情報収集をホームページから行うことが増加しているため、地域の風景を知っていただく動画に加え、新たに移住者の暮らしぶりを伝えることが出来るようになった。

【目標・ねらい】

- ① 駒ヶ根市で暮らす人の魅力を発信
- ② 移住定住の促進

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・新たに移住者の体験談を情報発信できるようになった。
- ・首都圏での全国各地の市町村のセミナー開催数が増加している中で、昨年並みの参加をいただくことが出来た。

今後の取り組み

- ・次年度開催の移住セミナーでも動画を活用し、駒ヶ根市の移住者の暮らしを発信していきたい。
- ・今後は駒ヶ根の魅力を発信する方法として、駒ヶ根と関わりを持ちたい方とのつながりも進めるため、2019年10月設立をめざし準備を進めている伊南DMOにも参画し、各種団体と連携した地域の魅力発信や、移住定住を促進する活動を継続したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある